

企業景況調査報告書

(平成25年10～12月期)



1/3 平成26年倉吉市成人式(倉吉市提供)

< 目次 >

調査の概要・調査結果概要 1
質問2 (直面している経営上の問題点) 2
質問3 (その他 意見) 3
集計結果 4～6
調査票様式 7

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書(平成25年10～12月)

調査対象企業 倉吉市内の商工会議所会員企業 100社
 (建設業22社、製造業20社、卸売業10社、小売業22社、サービス業18社、その他8社)

調査方法 各事業所を職員が直接訪問し、聞き取り又は依頼後調査票回収による。

調査時期 平成25年12月末～平成26年1月中旬

回収状況 80社(回収率80%) ※前回(7～9月)79社(回収率79%)

＜今期の状況＞ ☆緩やかに持ち直す動きがみられるも収益の改善には至らない状況

前年同期比では、自社の業況判断で+1.4ポイント(前回値▲15.7ポイント)と緩やかに持ち直しつつある。

売上高の項目についても建設業+31.3ポイント(前回値+5.5ポイント)、サービス業+33.4ポイント(前回値+9.1ポイント)が引き続き堅調に推移しており、総合で+1.4ポイント(前回値▲5.7ポイント)とプラスに転じている。

一方で原材料の高騰により収益状況を圧迫される業種もあり、製造業、小売業でそれぞれ▲31.2ポイント(前回値▲60.0ポイント)、▲29.5ポイント(前回値▲28.6ポイント)と大きくマイナスに振れる結果となった。また売上単価▲5.6ポイント(前回値▲8.7ポイント)の低下、原材料の高騰等により、資金繰り▲9.8ポイント(前回値▲11.5ポイント)が悪化していることが窺える。雇用人員については、製造業+25.0ポイント(前回値+6.6ポイント)、卸売業+25.0ポイント(前回値+16.7ポイント)で過剰傾向である。

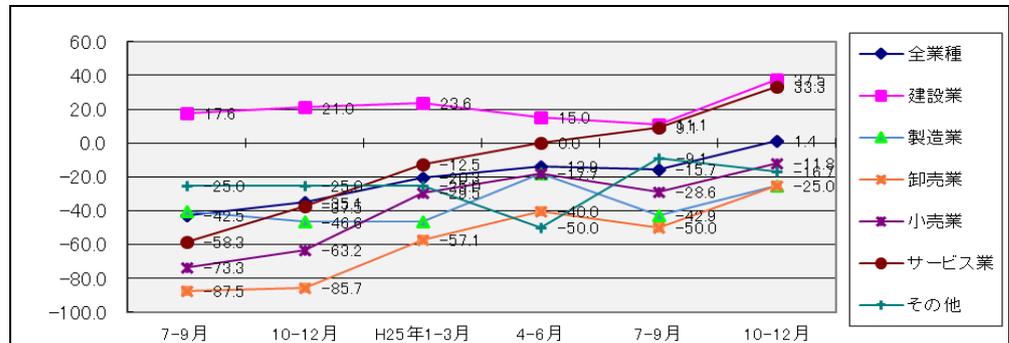
＜来期の見通し＞ ☆一部業種を除き業況判断がマイナスに傾倒する厳しい見通し

来期(1～3月)は、自社の業況判断で▲18.3ポイント(前回値▲15.7ポイント)と引き続き厳しさを予想している。特に今期、業況が悪化した製造業では、▲43.8ポイント(前回値▲20.0ポイント)と厳しい数値を示している。

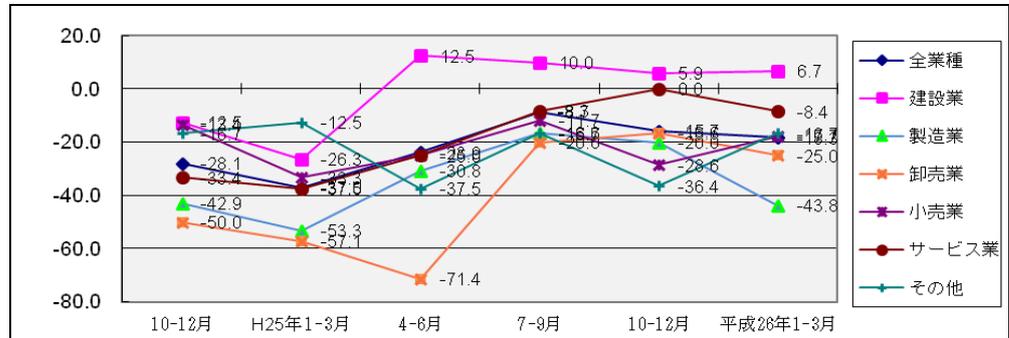
売上高については消費税増税前の駆け込み需要も見込まれる中、全業種総合で▲16.9ポイント(前回値▲21.7ポイント)と慎重な判断が表れた。

＜業況判断DIの推移＞ ※今期のDI値集計結果についてはP4をご参照下さい。

(1)今期の状況 <業種別>



(2)来期の見通し<業種別>



※DI値＝売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気・弱気などの景気感の相対的な広がり**を意味するものです。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

質問2 直面している経営上の問題点(上位3点を回答)

原材料の高騰により多くの業種で収益状況が悪化する見通しである。また地域の人口減少、大型店の出店等を背景に「競争激化」と回答した企業も依然として多く、「新分野への進出」を検討する業種もみられた。

[上位項目]

※ () 内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当期	原材料・仕入価格上昇(28)	競争激化(26)	売上・受注減少(25) 経費の増加(25)
	前期	競争激化(26)	消費・需要の停滞(24)	売上・受注減少(23) 経費の増加(23) 利益率低下(23)
建設業	当期	原材料・仕入価格上昇(12)	競争激化(7)	経費の増加(5) 人手不足(5)
	前期	原材料・仕入価格上昇(8)	競争激化(7) 人手不足(7) 利益率低下(7)	
製造業	当期	売上・受注減少(8) 原材料・仕入価格上昇(8)		競争激化(6)
	前期	消費・需要の停滞(7)	売上・受注減少(6) 経費の増加(6)	
卸売業	当期	競争激化(2) 売上・受注減少(2) 利益率低下(2) 新分野進出(2)		
	前期	競争激化(4) 売上・受注の減少(4)		消費・需要の停滞(3)
小売業	当期	消費・需要の停滞(7) 経費の増加(7)		競争激化(6)
	前期	消費・需要の停滞(7)	競争激化(5) 経費の増加(5)	
サービス業	当期	売上・受注減少(5)	競争激化(4) 経費の増加(4) 利益率低下(4)	
	前期	競争激化(5)	利益率低下(4)	消費・需要の停滞(3)
その他業種	当期	経費の増加(4) 利益率低下(4)		消費・需要の停滞(3) 人手不足(3)
	前期	利益率低下(4)	売上・受注減少(3) 経費の増加(3)	

質問3 その他（要望・意見等自由記入）

【製造業】

- ・来春の消費増税に対する不安が大きい。また原材料等の値上げが具現化しつつある。

【卸売業】

- ・消費税増税前の駆け込み需要により10月以降売上単価が上昇しているが、増税後は大きな反動が見込まれる。また製品自体は高値が続いているものの生産者の出荷意欲が低い状況である。

【小売業】

- ・来店客数、お買い上げ客数とも下がっている。販売単価と額を伸ばすことが出来ておらず、依然として厳しい状況である。
- ・生活形態が変わってきている為か、正月花の注文が少なくなりつつある。また技術者不足に困っている。新分野への進出も具体的に検討しなければならない。
- ・スタッフの若返りを図る必要がある。また売上がジリ貧である。
- ・地元でお買い物キャンペーンを拡げ、続けることで地域の活力に繋げたい。

【サービス業】

- ・仕事がなく採用できない状態が長く続いた為、技術者不足で困っている。今後は現在と同程度の仕事量が見込まれ、人手不足については採用し、教育・訓練によって解決する以外にないと思われる。借入に関しては困難になり賞与に影響が出ている。取引銀行を変えれば簡単に解決すると思うが、慎重に対処しようと思っている。
- ・大手チェーン店の出店により売上客数が減少傾向である。また円安により原価が高騰しており、利益率が低下している。
- ・他業種のように増税前の駆け込み需要など期待できない上、仕入価格が少しずつ上昇しており、先行きが不安である。

【その他】

- ・燃料費を含む経費の高止まり感が続いている。

<集計結果>

質問1 DI 値集計(前年同期比=25年10~12月期、来期の見通し=26年1~3月期) ※DI=Diffusion Index

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.4	-16.9	-5.6	2.8	-9.8	-11.4
製造業	-18.8	-43.7	-18.8	0.0	-18.8	-18.8
非製造業	7.3	-9.1	-1.8	3.6	-7.3	-9.2

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	5.6	-4.2	-12.5	-26.1	1.4	4.3
製造業	6.3	0.0	-31.2	-46.7	25.0	25.0
非製造業	5.4	-5.4	-7.2	-20.4	-5.3	-1.9

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.4	-18.3
製造業	-25.0	-43.8
非製造業	9.0	-10.9

【業種別】

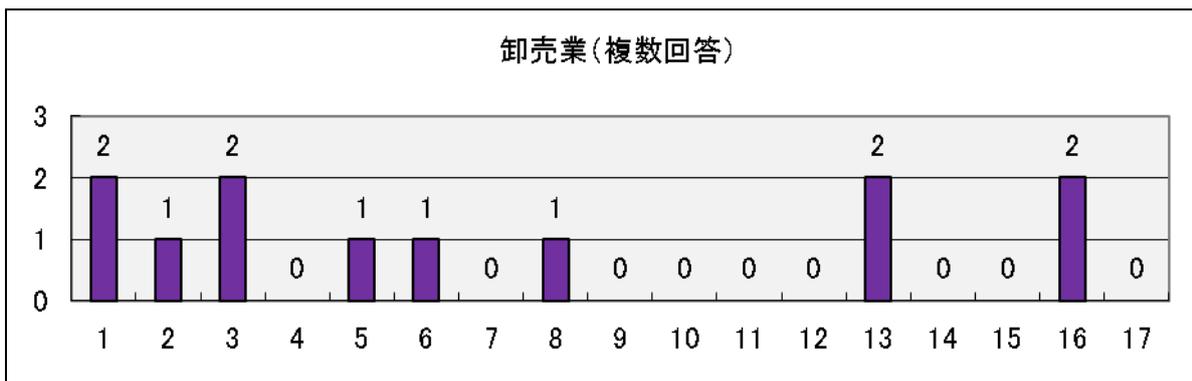
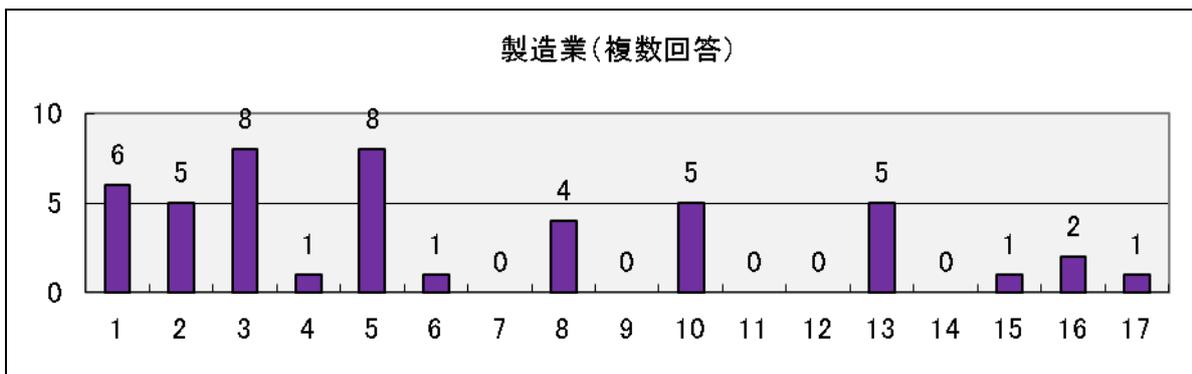
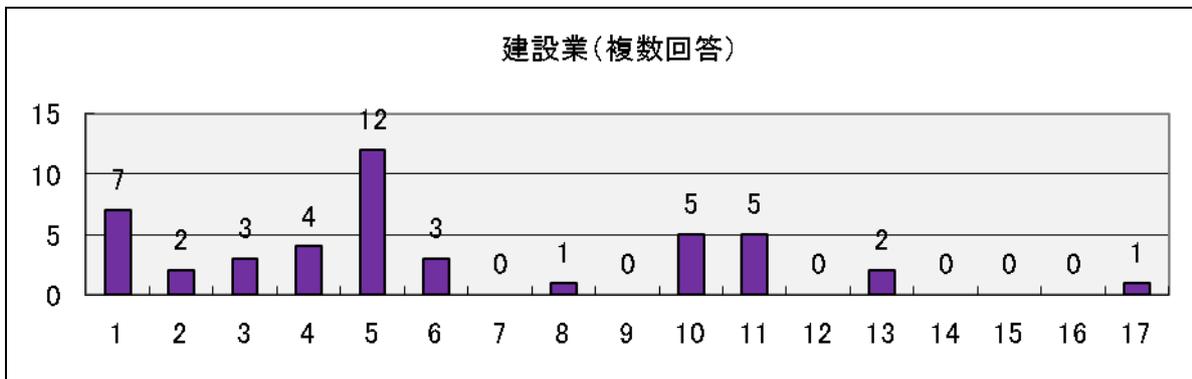
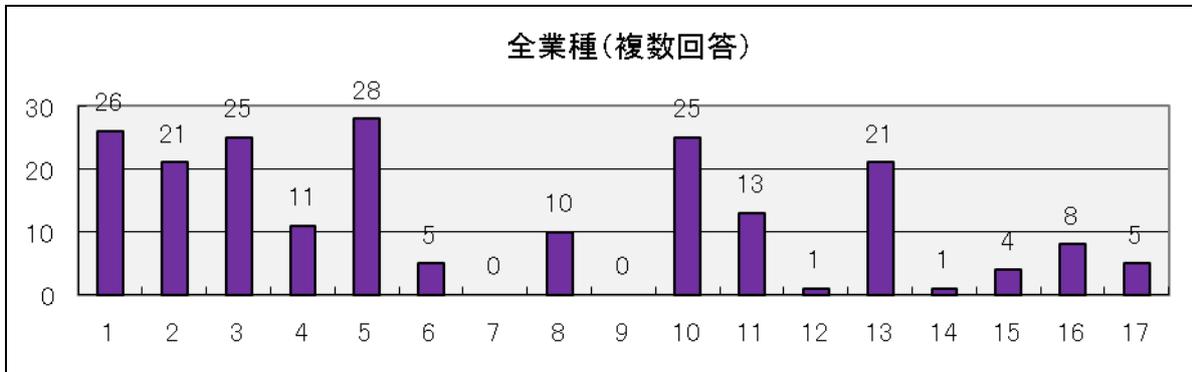
	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.4	-16.9	-5.6	2.8	-9.8	-11.4
建設業	31.3	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0
製造業	-18.8	-43.7	-18.8	0.0	-18.8	-18.8
卸売業	-25.0	-25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
小売業	-25.0	0.0	0.0	17.7	-37.5	-18.8
サービス業	33.4	-16.7	-8.3	-16.7	8.3	0.0
その他	0.0	-28.6	-28.6	-14.3	-14.3	-28.6
非製造業	7.3	-9.1	-1.8	3.6	-7.3	-9.2

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	5.6	-4.2	-12.5	-26.1	1.4	4.3
建設業	18.8	13.3	0.0	-13.3	-18.8	-21.4
製造業	6.3	0.0	-31.2	-46.7	25.0	25.0
卸売業	25.0	25.0	0.0	-50.0	25.0	25.0
小売業	-5.8	-5.8	-29.5	-11.8	0.0	5.9
サービス業	-8.3	-33.3	25.0	-33.3	-8.3	-8.3
その他	14.3	-14.3	-28.6	-14.3	0.0	8.4
非製造業	5.4	-5.4	-7.2	-20.4	-5.3	-1.9

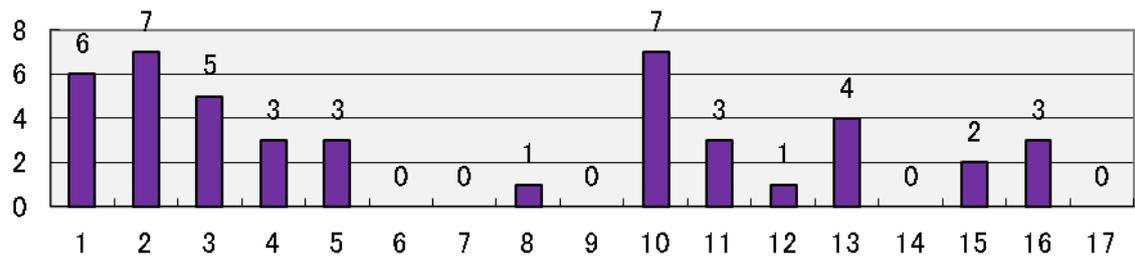
	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.4	-18.3
建設業	37.5	6.7
製造業	-25.0	-43.8
卸売業	-25.0	-25.0
小売業	-11.8	-17.7
サービス業	33.3	-8.4
その他	-16.7	-16.7
非製造業	9.0	-10.9

質問2 今期直面している経営上の問題点

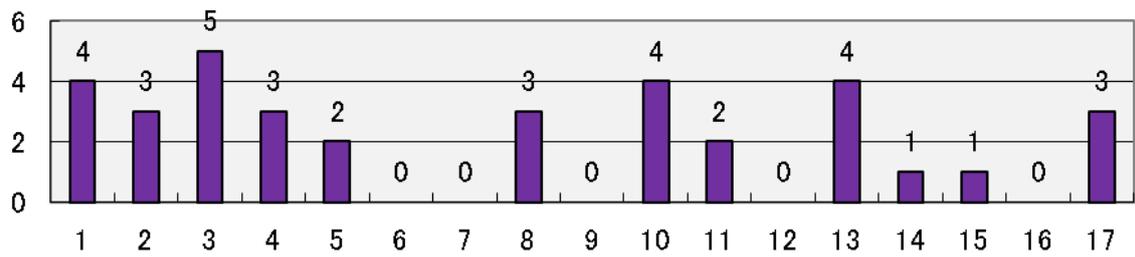
- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 07 原材料・在庫過剰 | 13 利益率低下 |
| 02 消費・需要の停滞 | 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 14 代金回収難 |
| 03 売上・受注減少 | 09 店舗・生産設備過剰 | 15 資金繰り難 |
| 04 売上・受注単価低下 | 10 経費の増加 | 16 新分野進出 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 11 人手不足 | 17 その他:具体的に |
| 06 原材料・在庫不足 | 12 人手過剰 | () |



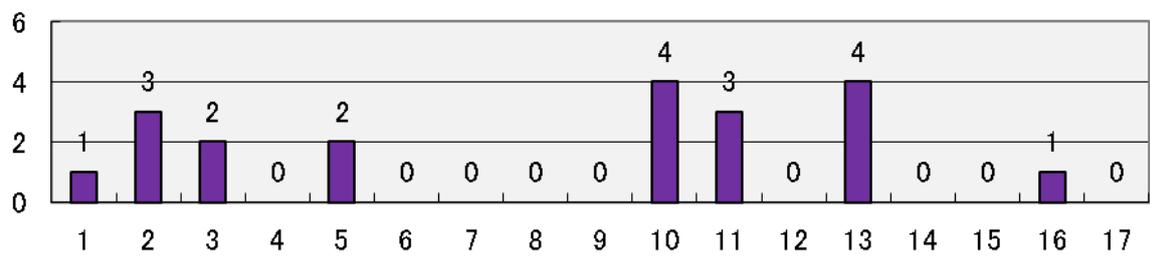
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



様

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(平成 25 年 10~12 月期)

調査元：倉吉商工会議所 TEL:22-2191/FAX:22-2193

【質問 1】前年同期と比較した今期(平成 25 年 10~12 月)の状況と来期(平成 26 年 1~3 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人		
	(前年同期比)	1. 過剰	2. 不変	3. 不足
	(来期の見通し)	1. 過剰	2. 不変	3. 不足
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問 2】今期、直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

01 競争激化	10 経費の増加	回答欄
02 消費・需要の停滞	11 人手不足	
03 売上・受注減少	12 人手過剰	1位 _____
04 売上・受注単価低下	13 利益率低下	
05 原材料・仕入価格上昇	14 代金回収難	
06 原材料・在庫不足	15 資金繰り難	2位 _____
07 原材料・在庫過剰	16 新分野進出	
08 店舗・生産設備不足・老朽化	17 その他：具体的に	
09 店舗・生産設備過剰	()	3位 _____

【質問 3】現在の景況感、企業経営上の問題点等についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。